



Rotary International District 2650 Nara Japan  
**奈良大宮ロータリークラブ**

# Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30  
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583  
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)  
 ■会長：富川 悟 ■副会長：小西敏文 幹事：植村将史



第2回親睦ゴルフ 11月5日(木) かさぎゴルフクラブ

## 1481回例会

### 指名委員会の開催について

定款・細則第3条理事及び役員の選挙第1節の中に、臨時総会の1か月前に指名委員会を告知するというになっております。11月3日が休会で本日が1か月前になりますので指名委員会を開催します。指名委員会は歴代過去5代の会長、現会長、次年度会長の7人で構成されます。これに従いまして、指名委員会の方のお名前を申し上げます。高木信夫さん、楠木重樹さん、清岡正教さん、成田積さん、佐川肇さん、私富川と次年度の矢追家麻呂さんこの7名です。委員長は高木信夫さんに努めていただきます。

### 高木指名委員会委員長

ただ今指名いただいた高木でございます。先ほどご案内ありましたように、来週が休会でございます。本日例会終了後、桐の間で第1回の指名委員会を開催させていただきます。先ほど委員に指名された方は、ご出席していただくようお願いします。

### 富川会長

今日指名委員会が開催されますが、会長に立候補される方ございましたら、1週間以内に指名委員会まで文章で立候補の意思をお伝え願いたいと思います。先日三笠中学におきまして「労働に学ぶ」を予定しておりましたが、運悪く新型インフルエンザで学級閉鎖が重なり、この事業は本年は中止となりました。メンバーの皆さんでこの日のためにいろいろ準備いただいたと思いますが、非常に残念です。ありがとうございました。来年開催される時はまたご協力いただきたいと思います。

## NEWS

### 第2回親睦ゴルフ

11月5日(木) かさぎゴルフクラブ



優勝 植村将史

### 次週の例会

11月22日 (11月17日は振替の為 休会)  
 スワード・アル・ムダファーラ氏 講演会  
 於：奈良100年会館 14:00~16:00  
 家族親睦例会  
 於：奈良ホテル 17:30~19:30

▼次項へつづく

発行日 / 2009年11月10日  
 2009-2010 / 17

# Vol.31

No. 1482

HP : <http://naraomiya-rc.jp>  
 E-mail : [info@naraomiya-rc.jp](mailto:info@naraomiya-rc.jp)



育てよう、人。

2009~10年度  
 第2650地区のテーマ  
 『育てよう人』

国際ロータリー第2650地区  
 ガバナー 富田謙三



### 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

## 例会プログラム

第17回 11月10日  
 通算1482回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング  
「国歌・もみじ」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. 卓話  
奈良県危機管理監  
前農林部長 川端 修 様  
「奈良県の危機管理」
6. 閉会の点鐘 18時30分

### 例会状況報告

第16回 10月27日  
 通算1481回

R.C.は出席から 1481回  
 ● 会員数 68名  
 ● 出席免除者数 21名  
 ● 出席者数 55名  
 ● 補填者数 -  
 ● 出席率 88.7%

### 1479回の修正

● 会員数 66名  
 ● 出席免除者数 21名  
 ● 出席者数 50名  
 ● 補填者数 5名  
 ● 出席率 96.5%

### 倉田新世代委員長

会長から先ほどお話ありましたように、「労働に学ぶ」が新型インフルエンザのため中止となりました。前日に学校に行かせていただきましたが、学級閉鎖がどんどん増えていった状態で今週になっても続いているとのこと。インフルエンザが拡大していくなかで、これ以上の拡大を防ぐために今回は中止という校長先生のお話がありました。

ご準備していただいていた講師の皆さん、また会員の皆さんにも大変お手数をおかけしました。これに懲りずに来年もよろしくお願ひしたいと思います。

今日状差しに、11月22日に奈良100年会館で開催しますスワダさんの講演会の案内をいれさせていただきました。時間は14:00~16:00です。出席の確認を回しますのでよろしくお願ひします。

### 高野社会奉仕委員長

来週休会なので、先日よりご案内しております献血活動について再度ご案内させていただきます。11月9日(月)11:00~16:00近鉄奈良駅の駅ビル西側で受付のブースを設けます。社員の方、ご家族の方にも声をかけていただき多くの方に献血活動ご協力いただきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。本日例会終了後ロビーで社会奉仕委員会を開催いたします。メンバーは渡辺さん、多田廣さん、日吉さん、山本直明さん、高木さん、東田さん、橋本さん、森下さん、鈴木さんです。なるべく早く終わりますのでよろしくお願ひします。

### 野上米山担当委員

米山の特別寄付を今日までに49名のかたにご協力いただきました。どうもありがとうございました。まだいただいております19名の方にも是非ご協力いただきたいと思ひます。11月まで受け付けておりますのでよろしくお願ひします。

## 元興寺文化財研究所 保存科学研究室 室長 塚本 敏夫氏 「古を残し・伝える新しき技」



只今ご紹介いただきました、元興寺文化財研究所の塚本と申します。今日はこのような機会をいただきありがとうございます。今日は私に与えられたテーマは「古を残し・伝える新しき技」ということで、皆様にはあまりなじみはないと思ひますが保存科学ということを私どもで行っています。それへの招待ということで簡単に発表させていただきます。発表はパワーポイントを使ってさせていただきますのでよろしくお願ひします。

今奈良博での正倉院展、興福寺の阿修羅像の展示とさまざまな展示が行われている奈良ですが、私どもは展示に至るまでの裏方の仕事をしていきます。今日は文化財について簡単にご紹介して、内容的には保存科学とはどういものかというお話、私は考古学についても勉強しているので、元興寺文化財研究所で特別展をやっている金属器の保存処理に着目

してお話させていただきます。そして最後にエジプトのほうでも、遺跡調査をしていますのでそのお話をさせていただきます。

保存科学というのは、実は文化財の調査がこいう修理をするために、本来は伝統的な技術や材料を使うのですが、これだけでは難しいので現在の材料や化学技術、そういう長所を引き出してその保存に応用するという研究分野であります。その意義や目的は、日本の文化財科学を引っ張っています奈良文化財研究所の澤田先生は「文化財は祖先が作り、現代に伝えた文化的な遺産です。過去から現代へ、現代から未来へと、残し残されていく人類の貴重なメッセージであります。それは単に、祖先の生活を知るためだけではなく、未来を創造する指針となるべきものであろう。こいう文化財を保存し広く活用していくこと、これが新しい文化創造エネルギーであらう。そして、それを支援する裏方の仕事

が保存であり、修理であります。」  
基本的には同じ材料、同じ技術で直していくのが最も望ましい事です。ところが、今修理に使う保存材料が生産できなかったり、伝統的な技術や技能を保持している人たちが急激に減少している。こいう中で伝統的な技術や材料に無い長所を経た、現在材料や化学技術に求めて、これをうまくミックスさせて現時点での最高と考えられる保存修理をしていくということが私たちの仕事です。

保存科学というのはどんな事をやるのかというと、文化財が持っている身元の確認とその価値を認識するということです。その他、こいう材料で作られてそれがどんな状態であるのか、材料の状態の判定や劣化機構を研究したり、また修理するための技術の開発や改良を行っています。

文化財のなかで埋蔵文化財についてお話させていただきます。埋蔵文化財の発掘調査だけでなく、最後の展示だけでなく、その間の保存処理が我々の仕事だと思われがちですが、実は発掘の段階からそして展示にいたるまでのお手伝いをするのが仕事です。保存処理しなかったらどうなるか？木製品は水につかって乾燥し小さくなる。金属製品は錆びて形がなくなりぼろぼろになる。1961年元興寺極楽坊の境内から大量の木製塔婆が出て、日本初の水浸出土材の科学処理を行った。1970年には奈良国立文化財研究所において、デンマークから技術を輸入し出土材の保存を実現した。1978年にはX線により埼玉県稲荷山古墳出土鉄剣の115文字の金象嵌銘文が発見された。保存処理とはどういうことか。わかりやすく言うと文化財の治療にあたると思います。保存センターは文化財の病院にあたります。木製品は内科的修理で、土器は整形外科的修理、鉄は錆びに覆われている中から、もともとの物をだして行うので外科的修理です。今日はこの中で金属器についてお話させていただきます。

工程としましては、発掘遺物の出土があり、それについて調査をしその錆は本当に取ってもいいのか見極めて錆をとります。処理前の調査ではX線をかけたり蛍光X線分析装置を使って、どういう材料からなってるのかを調べます。そして、錆の元となる塩素を脱塩して、安定化するための処理を行い、弱いところに樹脂を注入しそれにコーティングして接合復元して皆様の前にだします。そしてそれをカルテ化しています。

元興寺文化財研究所の歴史としましては、1971年から金属製品は行っており73年には保存科学センターが生駒にできました。

高度経済成長と相まって出土量が非常に多くなり遺物の処理が多くなりました。特にそのなかでも有名なのは、出雲にあります神庭荒神谷遺跡で358本の銅剣が一度に出て、9年間かけてぼろぼろの銅剣を処理する機会に恵まれ、うちのなかでも金属器の保存処理が確立されました。それと共にばらばらだった甲冑を復元することができるようになってきました。1990年にはいると保存処理も時代とともに変わっております。「錆の進行を抑え形をなんとか残す保存処理からきれいな保存処理へ」「科学分析による履歴情報の解明」等保存処理の質の向上がなされた。特にきれいな保存処理のために、さまざまな樹脂や、脱塩方法や技術管理、工程管理等現在の保存管理の枠組みが完成しました。現在研究所では文化財診断車にさまざまな機械を搭載して、運べない物については現地へ行って保存処理を行っています。21世紀になりまた一歩進んだ保存処理にしていこうということで、奇麗にするのではなく元々あったであろう錆化した情報をもとの構造や、埋蔵されていた状態を復元することに重きを置くようになってきました。保存と共に見ていただく人にわかりやすく展示するということにも苦心しています。

一般の人にも埋蔵品をわかりやすくみていただくため、模造品を制作したりもしています。

元興寺で25日からこのような物を展示会していますので、よろしかったら来ていただきたいと思います。

最後に海外での保存の話をしさせていただきます。私が6年ぐらい調査しているアルザヤーン神殿についてお話しします。エジプト政府は西方砂漠を都市化しようと考えており、地場産業としての遺跡を守り、活用するためにはどうしたらいいのか、ということでエジプト宇宙科学研究所から調査の依頼がありました。

砂漠の下に遺跡があることがわかっております。こういうふうな遺跡を解明するために、それとともに今ある神殿をどうやって保存していくか、またその周りの土地がどういう利用をされていたかということ、自然科学的な調査を使ってやっていこうということです。西方砂漠には図面自体がないので、デジタルアーカイブの技術を使って、遺跡をデジタルデータとして残していこうということを実際やっています。

その概略は、まずGPSを使って測量し、その神殿をレーザー計測してデジタル化していきます。実際に行ったことのない神殿を3Dでウォークスルーしているような感じで見れるようになっております。遺跡自体を丸々デジタルデータとしています。また、出土遺物がたくさんです。それを持ち帰るわけにはいけないので、デジタルデータとして日本に持ち帰り研究をしています。

また、この下にも同じ様な神殿があるのではないかと、ということがわかってきました。そして、どういう時期に作られたのかということ、炭素の年代を測って履歴の解明を行っています。

最後に保存処理の緊急課題として、環境の変化が問題になっております。地球温暖化により、処理済みの遺物が今まで考えられない錆の進行が進んだり、木製品もポリエチレングリコール自体が溶け出してくるような事例が増えています。この原因は地球温暖化による日本列島の亜熱帯化というのが大きな問題だと思っています。これは日本だけでなく、エジプトも世界各国で文化財が危機にさらされております。

特に日本は、亜熱帯気候にも対応できるような、アジア型保存処理技術を開発していくことが私たちに課せられた大きな課題だと考えています。このように保存処理の技術と保管環境両面、ハード、ソフト両面から推し進めてできるだけ多くの文化財を後世に伝えていくことが私たちの使命であり、元興寺文化財研究所のさらなる使命だと思います。ご静聴ありがとうございました。

## インドへのお誘い (麴谷 漣)

こんにちは。

インド・ブッタガヤという所をご存知でしょうか？

釈尊成道の地で、インドのネール首相が第二次世界大戦後の世界平和を保つ為に佛教徒に平和祈念の為の寺院建立を呼びかけ、日本の佛教関係の方々が宗派を超えて結束し、印度山・日本寺を建立されました。

40年前のその本堂洛慶法要に若き北河原公敬師が出仕されていたそうです。

その印度山・日本寺に常駐の日本人僧侶がいなくなりそうだとので、北河原公敬師のご子息、北河原公慈様が志願して6月に渡印されました。

昨年11月に参拝した時は、釈尊成道の地でありますので大菩提寺にはチベット・ネパール・スリランカ・タイ・台湾・韓国と、諸国の佛教徒が礼拝のために訪れており法要の場を確保するのにも難儀する程の多くの人々で賑わっていました。

その地で修行を積んでおられる北河原公慈大法師の慰問(?)とスリランカの佛跡を巡るツアーが企画されました。

気候の良い1月末の予定です。まだ詳しい事は決まっていなようですが、ご参加の意のある方はその旨お知らせいただければ詳細行程が決まり次第、旅行社からご案内が送られます。

月日	発着地/滞在地名	現地時間	交通機関名	スケジュール	食事	宿泊
1月20日(木)	バンコク発 バンコク バンコク	00:30 05:00 14:00	TG673 TG6820	専用車にてブッタガヤへ (ブッタガヤ泊)	×	ホテル
1月21日(木)	ブッタガヤ滞在	終日	専用車	ブッタガヤ観光 日本寺にて法要 (ブッタガヤ泊)		ホテル
1月22日(金)	ブッタガヤ発 バトナ着	朝	専用車	ラジゴール参拝後バトナへ (バトナ泊)		ホテル
1月23日(土)	バトナ発 デリー発 デリー発 コロンボ発	09:05 10:30 19:30 22:40	IC410 UL196	デリー-暫く簡単な市内観光と昼食 滞後ホテルへご案内します (コロンボ泊)		ホテル
1月24日(日)	コロンボ発 ボロンナルワ着	朝	専用車	滞後●アスラダプラ仏教遺跡群見学 観光後ボロンナルワへ (ボロンナルワ泊)		ホテル
1月25日(月)	ボロンナルワ発 シギリヤ着	朝	専用車	●ボロンナルワ仏教遺跡群見学 見学後キャンデイへ (キャンデイ泊)		ホテル
1月26日(火)	キャンデイ発 コロンボ着	朝	専用車	●仏舎寺(世界遺産) シギリヤ見学後コロンボへ 夕食後空港へお送りします (機内泊)		ホテル
1月27日(水)	コロンボ発 コロンボ着	01:25 06:00 09:00 19:00	TG808 TG6820	夕食後空港へ		機内

## 例会変更

### 奈良ロータリークラブ

11月12日(木) 12:30~13:30 IMに振替のため 11月14日(土) 新公会堂  
ビジター受付は11月12日(木) 12:00~12:30まで奈良ホテルにて行います。

### 生駒ロータリークラブ

12月2日(水) あやめ館 18:00~19:00  
家族親睦例会のため12月5日(土) 「飲茶楼」+「ビルボード」に変更します。  
12月23日(水) 休会 定款第6条第1節C  
12月30日(水) 休会 定款第6条第1節C  
なお全てビジター受付は行いません。

**ニコニコ箱** 本日計 42,000円 累計 969,000円

- 富川 悟 君 元興寺文化財研究所塚本さま、本日の卓話ありがとうございます。楽しみにしています。
- 小西敏文 君 昨日の情報集会、非常に楽しい会合でした。高木班長、小川副班長、お世話になりました。
- 植村将史 君 鈴木さん、久しぶりです。来週以降も出席よろしくです。
- 矢追家麻呂君 ちょっといい事がありました。ニコニコ。
- 有井邦夫 君 塚本室長、今日は御苦勞様です。よろしくお願い致します。
- 谷川千代則君 出張続きで2週間お休みしてました。すみません。
- 倉田智史 君 先日は「労働に学ぶ」がインフルエンザで中止になり、大変残念でした。ご準備頂いていた講師の皆様には大変お手数をおかけしました。
- 野上利樹 君 パースディ・プレゼントありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。
- 植倉一正 君 ニコニコに協力させていただきます。
- 渡辺英孝 君 ニコニコ協力
- 森下泰行 君 ニコニコ協力
- 鈴木浩之 君 めずらしく連続出席を達成させていただきました。